

情報系副専攻プログラム「総合科目群」科目一覧

R8.8.4

通し番号	学部	科目名	担当教員	開講学期	単位数	履修条件	備考
1	共創学部	課題研究（人と社会領域）言語データ分析 ※2022年以前入学生：（エリア発展科目）言語とコミュニケーションB	内田 諭	春学期	1	・〔人社〕言語・コミュニケーション論Aを履修していることが望ましい。	・使用言語：日本語・履修制限を行う（25名を上限とし、共創学部生を優先とする） ・他学部の学生が履修を希望する場合は、履修方法についてシラバスを確認し、担当教員から許可を得た上で、4月22日までに共創学部事務局（gazkyoso@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ連絡してください。
2	共創学部	〔学際〕情報学C（副題：ビッグデータ処理） ※2022年以前入学生：（エリア横断科目）ビッグデータ処理	木實 新一	春学期	1	・「プログラミング演習」を受講していること	・使用言語：英語（平易な英語による講義） ・履修制限を行う（64名を上限とし、共創学部生を優先とする） ・他学部の学生が履修を希望する場合は、履修方法についてシラバスを確認し、担当教員から許可を得た上で、4月22日までに共創学部事務局（gazkyoso@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ連絡してください。
3	共創学部	課題研究（領域横断）共創プログラミング ※2022年以前入学生：（エリア横断科目）ビッグデータ処理	木實 新一	夏学期	1	・「プログラミング演習」を受講していること	・使用言語：英語（平易な英語による講義） ・履修制限を行う（20名を上限とし、共創学部生を優先とする） ・他学部の学生が履修を希望する場合は、履修方法についてシラバスを確認し、担当教員から許可を得た上で、4月22日までに共創学部事務局（gazkyoso@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ連絡してください。
4	共創学部	〔学際〕情報学E（副題：Python programing in English） ※2022年以前入学生：（エリア横断科目）Python Programming for Analysis（2022年以前入学生で、（エリア横断科目）「Python Programing for Analysis」を履修していた場合、〔学際〕情報学Eおよび〔学際〕情報学Fを修得したものとみなす）	Jan Brezina	秋学期	1		・使用言語：英語 ・共創学部生を優先とし、他学部生の受講は10名までとする ・他学部の学生が履修を希望する場合は、履修方法についてシラバスを確認し、担当教員から許可を得た上で、指定された期日までに共創学部事務局（gazkyoso@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ連絡してください。
5	共創学部	〔学際〕情報学F（副題：Python programing for Analysis） ※2022年以前入学生：（エリア横断科目）Python Programming for Analysis（2022年以前入学生で、（エリア横断科目）「Python Programing for Analysis」を履修していた場合、〔学際〕情報学Eおよび〔学際〕情報学Fを修得したものとみなす）	Jan Brezina	冬学期	1	・初級レベルのPython スキルがあること	・使用言語：英語・共創学部生を優先とし、他学部生の受講は10名までとする ・他学部の学生が履修を希望する場合は、履修方法についてシラバスを確認し、担当教員から許可を得た上で、指定された期日までに共創学部事務局（gazkyoso@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ連絡してください。
6	教育学部	教育調査法Ⅰ	木村 拓也	夏学期	2		教育学部生を優先とし、他学部受講は最大5名までとする。 他学部生は科目担当教員の承認を得て、履修登録すること。
7	教育学部	教育情報処理	中世古 貴彦	前期	2		教育学部学生を優先とし、他学部の受講は最大10名までとする。 他学部生は科目担当教員の承認を得て、履修登録すること。
8	教育学部	教育統計学	林 洋一郎	後期集中	2	・教育情報処理を履修していることが望ましい。	教育学部学生を優先とし、他学部の受講は最大10名までとする。 他学部生は科目担当教員の承認を得て、履修登録すること。
9	法学部	法情報学	西村 友海	後期	2		
10	法学部	情報法	成原 慧	後期	4		
11	理学部	情報数学Ⅰ・演習 ※2025年以前入学生：情報数学・演習	脇隼人・田上大助	前期	4	1年次の微分積分、線型代数、プログラミング演習を履修していること。	他学部の受講は最大5名まで。
12	理学部	統計数学・演習	川野 秀一	後期	3	1年次の微分積分、線型代数、数理統計を履修していること。	他学部の受講は最大5名まで。
13	工学部	データ構造とアルゴリズムⅠ（CM）	東藤 大樹	春学期	1		※電気情報工学科（Ⅰ群）学生が所属コースの同名科目を受講した場合、情報系副専攻プログラムの修了認定単位としてカウントします。 ※電気情報工学科（Ⅰ群）学生が所属コースの同名科目を受講した場合、情報系副専攻プログラムの修了認定単位としてカウントします。
14	工学部	データ構造とアルゴリズムⅡ（CM）	東藤 大樹	夏学期	1		
15	工学部	プログラミング論（CM）	峯 恒憲	春学期	2		
16	工学部	プログラミング論（EC）	福嶋 政期	春学期	2		
17	工学部	プログラミング論（EE）	島田 敬士	春学期	2		
18	工学部	プログラミング演習Ⅰ（CM）	松永 裕介	夏学期	1		
19	工学部	プログラミング演習Ⅰ（EC）	大島 聡史	夏学期	1		

通し番号	学部	科目名	担当教員	開講学期	単位数	履修条件	備考
20	工学部	プログラミング演習Ⅰ（EE）	宮内 翔子	夏学期	1		
21	工学部	プログラミング演習Ⅱ	興 雄司	秋学期	1		
22	工学部	プログラミング演習Ⅲ	山本 薫 THEMELIS ANDREAS	冬学期	1		
23	工学部	論理回路（CM）	谷本 輝夫	春学期	2		※電気情報工学科（Ⅰ群）学生が所属コースの同名科目を受講した場合、情報系副専攻プログラムの修了認定単位としてカウントします。
24	工学部	コンピュータアーキテクチャⅠ（EC）	井上 弘士	夏学期	2	・一部において、論理回路、ならびに、Cプログラム言語の知識が必要になります。	・教室のキャパが足りる範囲において受入れ可能です。 ・場合によっては同日同コマにて開催されているCM or EE コースと合同で開催場合があります。この時は、オンラインとなる場合があります。 ※電気情報工学科（Ⅰ群）学生が所属コースの同名科目を受講した場合、情報系副専攻プログラムの修了認定単位としてカウントします。
25	工学部	オペレーティングシステムⅠ	荒川 豊	秋学期	1		・教室のキャパが足りる範囲において受入れ可能です。
26	工学部	オペレーティングシステムⅡ	荒川 豊	冬学期	1		・教室のキャパが足りる範囲において受入れ可能です。
27	工学部	情報論理学Ⅰ	越村 三幸	春学期	1		
28	工学部	情報論理学Ⅱ	越村 三幸	夏学期	1	情報論理学Ⅰを履修していることが望ましい	
29	工学部	データサイエンス応用	木口・西川・辻	3年・秋冬	2		機械工学科の必修科目であるため、講義室の座席に十分な余裕がありません。そのため、情報系副専攻プログラムからの受講生については履修制限することがあります。機械工学科の学生に幅広く理解してもらうことを重視しているため、Pythonの基本的な使い方やデータサイエンスで使用する手法の基礎から丁寧に説明しております。そのため、初学者向けの内容であり、機械工学分野に特化した内容にはなっていません。
30	芸術工学部	プログラミング基礎	伊藤 浩史 関 元秀	春学期	1		他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
31	芸術工学部	プログラミング設計	関 元秀 伊藤 浩史	夏学期	1		他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
32	芸術工学部	情報科学Ⅰ	丸山 修	秋学期	1		・R8年度は夏学期開講 ・基幹教育科目理系ディシプリン科目「情報科学Ⅰ」とは異なる科目のため注意すること。 ・他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
33	芸術工学部	情報科学Ⅱ	丸山 修	冬学期	1		・R8年度は秋学期開講 ・基幹教育科目理系ディシプリン科目「情報科学Ⅱ」とは異なる科目のため注意すること。 ・他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
34	芸術工学部	情報科学Ⅲ	丸山 修	春学期	1		他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
35	芸術工学部	コース融合プロジェクト（丸山先生担当分）	丸山 修	未定	4		未来専門科目ではなく、PBL科目 ・R8年度は開講なし ・他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
36	芸術工学部	デジタル信号処理	吉永 幸靖	後期	2	基幹教育科目「入門微分積分Ⅰ・Ⅱ」もしくは「微分積分学Ⅰ・Ⅱ」、および「入門線形代数Ⅰ・Ⅱ」もしくは「線形代数学Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。	他学部の学生が履修を希望する場合は、10月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
37	芸術工学部	音響メディア工学	鍋木 時彦	夏学期	2	デジタル信号処理に関する基礎知識を有することを履修の条件とする。	・授業は初回に教室でテキストを購入してもらい、対面形式で行っているため、他学部の学生が履修を希望する場合は、担当教員と事前に十分な打ち合わせを行うこと。 ・他学部の学生が履修を希望する場合は、4月30日までに芸術工学部学務課教務係（gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）へ事前に確認してください。
38	農学部	情報演習Ⅰ	岡安崇史 尾崎彰則 光岡宗司	前期集中	1		2024年度まではMATLABを用いたプログラミングとデータ処理のための完全オンライン学習プログラムとなっています。期間内に全ての単元を終了する必要があります。
39	農学部	情報演習Ⅱ	岡安崇史 尾崎彰則 光岡宗司	後期集中	1	情報演習Ⅰを履修していること。	2024年度まではMATLABを用いたプログラミングとデータ処理のための完全オンライン学習プログラムとなっています。期間内に全ての単元を終了する必要があります。